

第23回(平成21年度第3回) ISO/SR 幹事会 議事録

1. 開催日時 : 平成21年6月11日(木) 13:00~14:30

2. 開催場所 : 都道府県会館 4階 408会議室

3. 出席者 : 【敬称略・五十音順】 出席者(○)、欠席者(×)

委員 : 松本 恒雄(一橋大大学院)○、青木 健(連合)○、足達 英一郎(日本総合研究所)○、稲岡 稔(セブン&アイ・ホールディングス)○、逢見 直人(連合)△(代理:大久保)、長見 万里野(消費者協会)○、熊谷 謙一(連合)○、黒田 かをり(CSO ネットワーク)○、斎藤 仁(経団連)○、佐野 真理子(主婦連合会)×、関 正雄(損保ジャパン)○、富田 秀実(ソニー)○、成田 裕紀(内閣府)○、藤代 尚武(経産省)×、水谷 綾(大阪ボランティア協会)×

関係者 : 濱坂 隆×、宮澤 武明○(以上経産省)、佐藤 洋△(代理:加藤 陽介)、小堀 紀子○(以上三菱総研)

オブザーバ : 網野 直英(経団連)

事務局 : 岡本 裕○、佐藤 恭子○、櫻井 三穂子×(以上JSA 記)

4. 議事次第 :

- (1) 議事、資料及び前回の議事録の確認
- (2) 次回国内委員会の議題の確認
- (3) ケベック総会の報告内容の確認及び意見交換
- (4) 今後のスケジュールの確認
- (5) その他

5. 資料 :

- WG I -23-1 第22回 ISO/SR 幹事会 議事録 (案)
- WG I -23-2 第24回 ISO/SR 国内委員会 議事次第 (案)
- WG I -23-3 ケベック総会の報告資料 (案)
- WG I -23-4 日本コメントの総会での扱い (案)
- WG I -23-5 コペンハーゲン総会までのスケジュール (案)

WG I -23-6 DIS コメント・投票の提出の手続きに関する細則（案）

参考資料：

参考資料 1 ISO/TMB/WG on SR ケベック総会決議（日・英）

参考資料 2 Report of IDTF（日・英）

6. 議事概要：

6. 1 議事、資料及び前回議事録の確認

事務局から、議事及び資料の確認を行った。議事次第については、Annex に関する意見交換など今後の対応になるべく時間をあてることが提案され確認された。

また、幹事会規約第 7 条 2 項の成立条件に照らして、今回の幹事会がその条件を満たすことを報告し、幹事会の成立を確認した。

さらに、経団連の網野氏のオブザーバ参加について紹介があり、了承された。

前回の議事録については、確認の上、修正などがあれば事務局までお願いしたい旨の依頼があった。

6. 2 次回国内委員会の議題の確認

事務局より WG I -23-2 にしたがって 6 月 18 日に開催予定の次回国内委員会の議事次第案について確認が行われた。

6. 3 ケベック総会の報告内容の確認及び意見交換

資料 WGI-23-3 及び 4 にしたがってケベック総会の報告内容の確認を行った。

6. 4 今後のスケジュールの確認

事務局から、資料 WGI-23-5 及び 6 にしたがって、今後のスケジュール案及び DIS 段階における検討プロセスの確認が行われた。

DIS 段階では、過去に検討したコメント及び具体的な文言レベルでの修正提案がないコメントは基本的に検討の対象としないことを確認した。

<主な意見>

- ・ 委員会の開催時期は年末年始と重ならないようにして欲しい。ケベック総会で日本

コメントが数多く採用されていることを考えると、開催回数は 6 回も必要ないのではないか？

→幹事会での検討は 12 月中に終わらせるようになるべく前倒しで行いたい。回数については、コメント数や検討の進捗状況を見て調整していきたい。

- CD で提出した日本コメントが DIS に反映されているかどうかの分析は事務局の方で行ってもらえるのか？

→各 CSM に出た方々に確認をしつつ、事務局で参考として作成する方向で対応したい。

→パブリックコメントについても、各ステークホルダーに検討依頼をする前に、事務局の方である程度精査して欲しい。

- ISO 26000 の普及についてもそろそろ国内委員会で議論していくべきではないか。

→今年度、事例 WG において ISO 26000 の普及策について検討する予定である。

以 上